



北区地域医療守る連携が前進



北社保病院守る会で増床・機能拡充を報告 印刷局病院含め地域医療守る連携のチャンス

8月4日に「北社会保険病院を拡充させる会」の総会が開かれ、昨年の地域医療推進機構法の成立以後の動きが報告されました。

■売却の危機乗り越えて

政府は自民・公明など民営派に妥協し、法の実施を延期している間に川崎社保病院などを売却しまし

た。しかし北社保病院は、安定黒字を続け、公的存続を前提に64床の増床と周産期医療・救急医療など機能強化の中期計画を提出。夏から工事準備に入っています。

■推進機構トップが自治医大出身者に

新機構のトップには自治医大出身者が抜擢され、売却路線から早期に

公的存続路線に転換させ、病院からの転退職を抑えるため職員の全員雇用を打ち出すなど、病院を守る運動にこたえる姿勢を示しています。

■区・医師会と連携して

共産党は住民と共に、西ヶ原の印刷局病院も救急医療など守るよう北区・医師会などに連携を申し入れています。

「車いすも通して」の要望で一部改善 ☆急坂の安全に工夫も必要☆

赤羽北Oさんの要望受け

先月、赤羽北の訪問先で、そね前都議と永井区議が、赤羽台4丁目から赤羽北への坂道の歩道に、車いすも通れるようにゲートを改善してほしいとの要望を受け、永井区議の区への要請で実現しました。

下の写真のようにゲートを開けただけなので急坂を上り下りする車いすや乳母車の安全確保の工夫も必要です。

バリアフリーの努力を

坂の多い北区でさらにバリアフリーに力を入れます。

要望を受け改善された赤羽北の歩道の入り口



近づく平和のための北区戦争展

◆◆ 9月1日(土)・2日(日) ◆◆

9月1日から2日にかけて、北とぴあ地下展示ホールで高齢の「北区戦争展」が開かれます。北区内で活動する平和委員会、被爆者団体「双友会」などに加え、今年は「反原発」運動も加わり放射能の危険から日本と子どもたちを守ろうとの訴えやトークも行われます。どなたでも出品できる「平和作品展」もありますので、下記事務局までお問い合わせください。

事務局：鰐部明 北区岸町2-10-20 (3908) 0506



昨年出品の切り絵「負けないで」

消費税増税許さない! シリーズNO.2

田端機工街に続き消費増税をくい止めたいと奮闘する各界の声を紹介します。

「しかし消費税が上っても、安くてうまいのが売りなので私の店でいえば年二百万円以上の増税分を料金に乗せでさず大ピンチになる。」

●増税分をかぶれば

「しかし消費税が上っても、安くてうまいのが売りなので私の店でいえば年二百万円以上の増税分を料金に乗せでさず大ピンチになる。」

●サービスク競争で活気が

「うちがランチを始めたら、多い日で60人ほど食べに来てる。近所の店と激しい競争になる。同時にサービスクの競合いが客を増やし、まちの活気をつくっている。」

赤羽の飲食業者の訴えから

「このまま増税許せば、いろいろ工夫してきた地元の店は大半消え去り、大手のチェーン店しか残らず、赤羽の良さはなくなってしまう。地元の小きな店が競い合いなから共存できるためにも消費税増税は何としてもくい止めた

●安心して飲めるまち守りたい

本田区議、納涼のつどいに午後と夜二部にわけて50人

8月21日田端ふれあい館で納涼の集いが開かれ2部にわけて本田区議の区政報告、池内さおり・そねはじめの挨拶がありました。

《原発ゼロまで官邸前へ》

参加者から一言ずつ話があり、介護や医療の負担の重さや、田端駅へのEV設置、公害患者の医療保障の存続、不自由な体での参加など思いを語りました。

年輩の方から「政府の宣伝を信じてきたが今は原発ある限り毎週金曜の官邸前は死ぬまで参加する」と放射能被害を残さないとの強いメッセージもありました。



数百の飲食業の店がひしめく赤羽駅前



そねはじめ交友録 <その四十六>

新米区議時代6年を共に歩んでくれた 永遠のモダンボーイ 守屋三郎さん

86年、私が区議候補に決まり挨拶に行った時、桐ヶ丘団地後援会長で、何から何までお世話になったのが守屋さんでした。

駅前の朝宣伝から空き缶を使った1円募金箱配り、アジの開き販売事業、新年初詣でバスの会場探して暮れの寒風の中、川越市内を二人で食堂探しに歩き回った記憶は忘れられません。

毎週火曜と金曜、選挙期間は毎朝宣伝に立った赤羽駅西口には、必ずといってよいほど付き合ってくれました。

ある朝、宣伝後のコーヒーを飲んでしていると、守屋さんがやけにニコニコしているのでわけを聞くと、「さっき年配の人から『おじいさん、あんたよく頑張ってるね、表彰ものだよ。俺は共産党は好きじゃないが、あんたのために一票入れるよ』と言われたよ」とうれしそうでした。雨の朝も風の日も私と共にビラをまく守屋さんの姿に、あらためて自分も歳をとってできるかと自問しました。

92年夏、守屋さんは後援会会議の帰りに交差点で右折車に巻き込まれ急逝されました。そのひと月後に私の都議選立候補が発表され、翌年飯田幸平さんからバトンタッチを受けることができました。

いつもハンチングをかぶり新しいものが好きなモダンボーイの守屋さんが「そね君はもっと上に行くと思うけど桐ヶ丘は原点だから忘れちゃいかんよ」とぽつりと語った言葉は、今も胸にきざんでいます。

91年秋の中島武敏後援会の釣り大会で、雨の中、カッパ姿で釣りにうちこむ守屋さん。

